
UC-1 Engineer's Suite

Operation Guidance 操作ガイダンス

本書のご使用にあたって

本操作ガイドは、おもに初めて本製品を利用する方を対象に操作の流れに沿って、操作、入力、処理方法を説明したものです。

ご利用にあたって

最新情報は、製品添付のHELPのバージョン情報をご利用下さい。

本書は、表紙に掲載時期の各種製品の最新バージョンにより、ご説明しています。

ご利用いただく際には最新バージョンでない場合もございます。ご了承ください。

お問い合わせについて

本製品及び本書について、ご不明な点がございましたら、ご所有の本製品のインストール用CD-ROMなどから「問い合わせ支援ツール」をインストールして戴き、製品画面上から、問い合わせ支援ツールを利用した簡単なお問い合わせ方法をご利用下さい。環境などの理由でご使用いただくことが可能ではない場合には弊社、「サポート窓口」へメール若しくはFAXにてお問い合わせ下さい。

なお、ホームページでは、最新バージョンのダウンロードサービス、Q&A集、ユーザ情報ページ、ソフトウェアライセンスのレンタルサービスなどのサービスを行っておりますので、合わせてご利用下さい。

ホームページ www.forum8.co.jp

サポート窓口 ic@forum8.co.jp

FAX 0985-55-3027

本製品及び本書のご使用による貴社の金銭上の損害及び逸失利益または、第三者からのいかなる請求についても、弊社は、その責任を一切負いませんので、あらかじめご承知置き下さい。

製品のご使用については、「使用権許諾契約書」が設けられています。

VIEWER版でのご使用については、「VIEWER版使用権許諾契約書」が設けられています。

Web認証（レンタルライセンス、フローティングライセンス）でのご使用については、「レンタルライセンス、フローティングライセンス版使用権許諾契約書」が設けられています。

※掲載されている各社名、各社製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

目次

5	第1章 製品概要
5	1 UC-1 Engineer's Suiteの概要
6	2 フローチャート
7	第2章 クラウド機能
7	1 クラウドファイル共有連携
7	1-1 設定
8	1-2 Webサイトを開く
9	1-3 ファイルを転送
10	2 クラウドバックアップ共有連携
10	2-1 開いている対象をファイルに追加
10	2-2 設定を開く
13	2-3 Webサイトを開く
14	第3章 2DCAD機能
14	1 図面作成
14	1-1 図面生成
15	1-2 図面編集
20	1-3 図面出力
20	1-4 図面編集終了
21	第4章 3D配筋機能
21	1 3D配筋生成
22	1-1 干渉チェック
24	1-2 施工順
25	1-3 鉄筋の追加配置
27	1-4 エクスポート
27	1-5 3D配筋CAD終了
28	第5章 サポート・チェック機能
30	第6章 Q&A
30	1 UC-1 Engineer's Suite 下部工基礎スイート 橋台の設計
30	2 UC-1 Engineer's Suite 下部工基礎スイート 箱式橋台の設計計算

第1章 製品概要

1 UC-1 Engineer's Suiteの概要

UC-1エンジニアスイートとは、設計CADソフトウェアであるUC-1シリーズ各製品のセット版です。

UC-1エンジニアスイートでは、単独製品の機能の他に次項に挙げる機能の追加および強化を行っています。

【製品機能の追加および強化】

(1)クラウド機能

データファイルをクラウドに保存等、クラウドを利用したクラウド共有機能、クラウドバックアップ連携機能、ファイル転送機能を標準サポートします。

(2)2DCAD機能

図面作成機能を有しているスイート製品に対して、2次元汎用CADの「UC-Draw」の機能を有したツールにより多様な編集機能、出力等が可能です。

(3)3D配筋機能

図面作成機能を有するスイート製品では、「3D配筋CAD」機能を有したツールにより3D表示だけでなく、編集や干渉チェックが可能です。

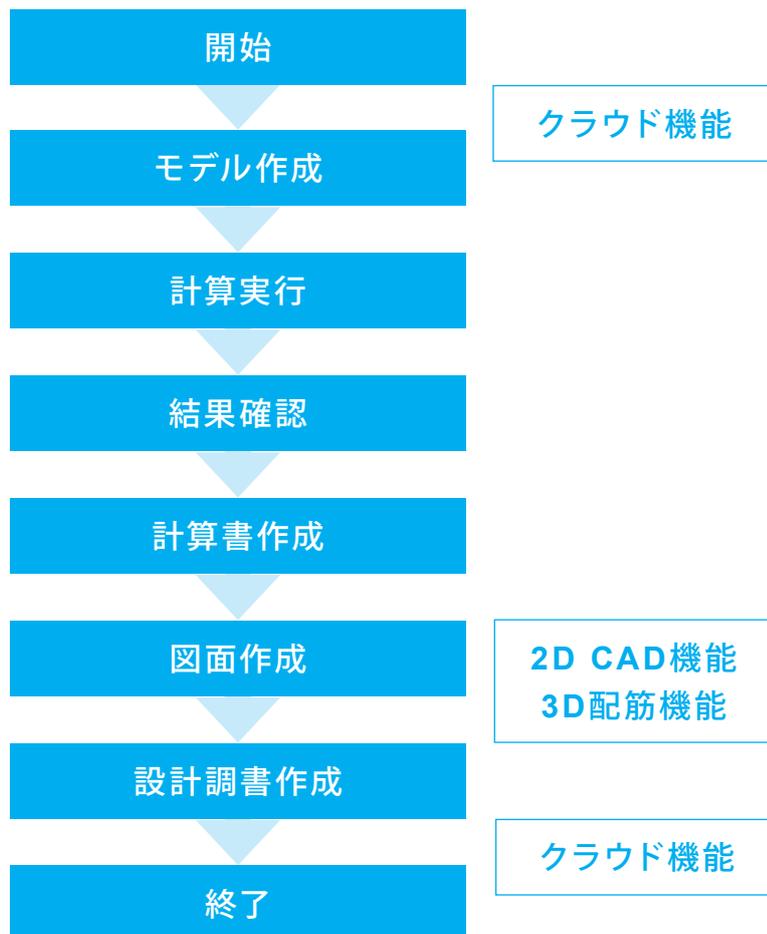
(4)IM機能

「3D配筋CAD」ツールからのIFCデータファイル出力機能が可能です。今後、BIM (Building Information Modeling) , CIM (Construction Information Modeling) 機能、IFC (Industry Foundation Classes) 変換の強化を図ります。

(5)サポート・チェック機能の強化

スイート製品は、入力順データチェックリスト出力を標準サポートします。

2 フローチャート



第2章 クラウド機能

1 クラウドファイル共有連携

本プログラムをFORUM8の「UC-1 for SaaS ファイル共有サービス」と連動させる場合の設定を行います。

*UC-1 for SaaS ファイル共有サービス

ファイル共有サービスは、従来よりユーザー様に無償でご提供しておりますファイル転送サービスを拡張した別サービスで、従来機能に加えてWebストレージとしての機能を備えたファイル共有のためのサービスです。本サービスは、UC-1スイート製品と連動し製品から直接ファイルを処理することができます。

1-1 設定

ファイル共有サービス設定

アカウント設定 ネットワーク設定

管轄: 0

USERCODE: 00000

USERID: userid

パスワード: ●●●●●●

設定を保存して接続テスト

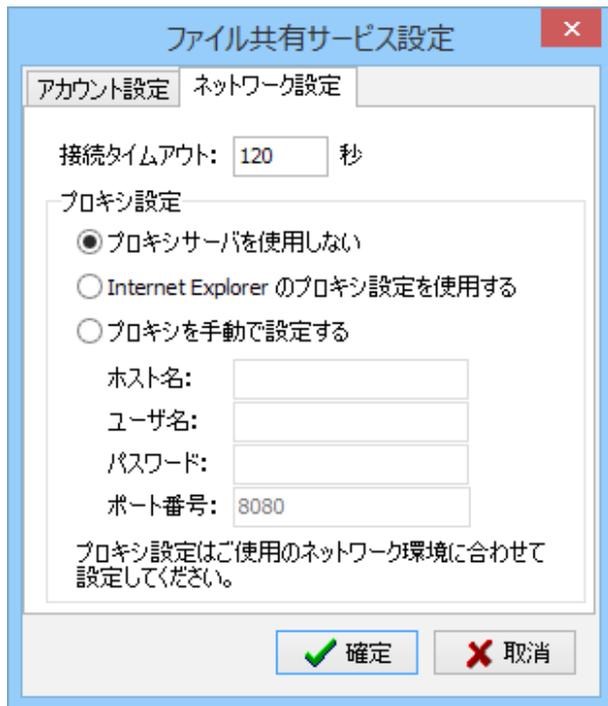
テスト結果
ここにテスト結果が表示されます。

確定 取消

<ファイル>><クラウドファイル共有連携>><設定を開く>>
クラウドファイル共有の設定画面を開きます。

アカウント設定

サーバにアクセスするためのアカウント情報を設定します。本機能を使用するためには、必ず設定する必要があります。UC-1 for SaaSのアカウント情報を入力します。UC-1スイート製品をご購入いただいた場合、ファイル共有サービスのライセンスが付与されています。アカウント情報入力後、[設定を保存して接続テスト]をクリックし、「接続できました」の表示が確認出来ればアカウント設定は完了です。設定に誤りがある旨が表示される場合、まず、アカウント設定の入力内容をご確認ください。アカウント設定に誤りがなければ、[ネットワーク設定] タブでネットワーク接続の設定を変更します。



ネットワーク設定

サーバにアクセスする際のネットワークの設定を行います。インターネットへのアクセスにプロキシサーバを経由する必要がある場合に設定を行なって下さい。

接続タイムアウト

通信の応答がなくなってから処理を中断するまでの秒数を指定します。

プロキシサーバを使用しない

本プログラムのネットワーク接続時にプロキシサーバを経由せずに接続を試みます。社内にプロキシサーバ、ファイアウォールなどが設置されていると、接続できない場合があります。

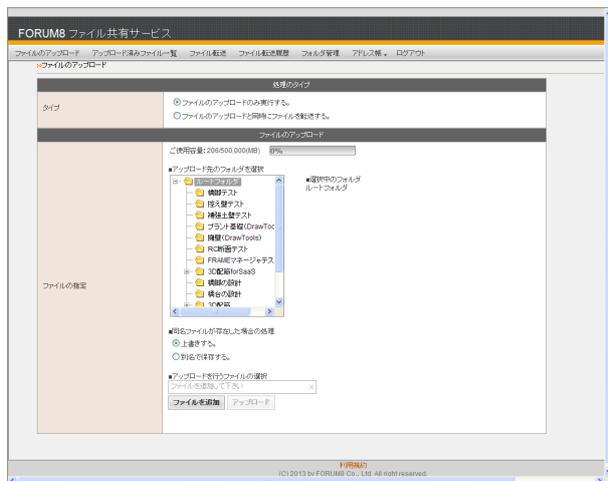
Internet Explorer のプロキシ設定を使用する

ネットワーク接続時に、Internet Explorer で設定されているプロキシサーバを使用します。プロキシサーバ接続時に認証情報を設定することはできません。

プロキシを手動で設定する

プロキシサーバのホスト名、ユーザ名、パスワード、ポート番号を手動で設定します。対応している認証方法は、認証なし、BASIC認証の2種類になります。

1-2 Webサイトを開く



<ファイル>-<クラウドファイル共有連携>-< Webサイトを開く >

ファイル共有サービスのWebサイトを表示します。適切なアカウント情報が入力されていない場合、Webサイトは表示されません。

ファイルのアップロード

サーバに選択ファイルをアップロードします。

アップロード済みファイル

アップロードされたファイルの一覧確認、検索を行います。

ファイル転送

アップロード済みファイルをメールにて、転送いたします。同時最大10件の宛先に送信可能です。

ファイル転送履歴

過去3年間の送信済みデータを表示します。選択中のメール送信履歴から再送用のデータを作成することもできます。

フォルダ管理

サーバへのフォルダの新規作成、変更、削除を行います。

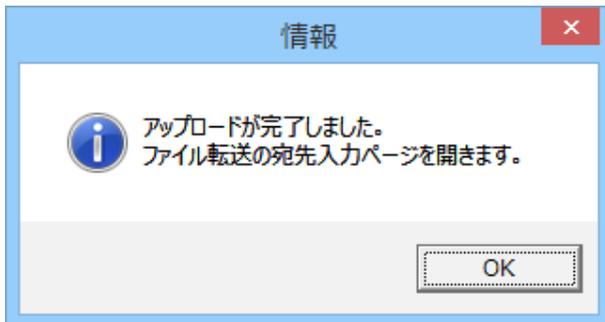
アドレス帳

アドレス帳への新規登録、検索を行います。

1-3 ファイルを転送



<ファイル>-<クラウドファイル共有連携>-<ファイルを転送>
ファイル共有サービスのサーバに編集中のデータを保存し、本サービスWebサイトのファイル転送ページを開きます。
サーバにデータを保存します。



アップロードに成功するとメッセージが表示されます。
OKをクリックします。



保存したデータのダウンロードリンクをメールします。
1ファイル最大2GBのファイルを送信できます。

2 クラウドバックアップ共有連携

本プログラムをFORUM8の「UC-1 for SaaS クラウドデータバックアップサービス」と連動させる場合の設定を行います。

2-1 開いている対象をファイルに追加

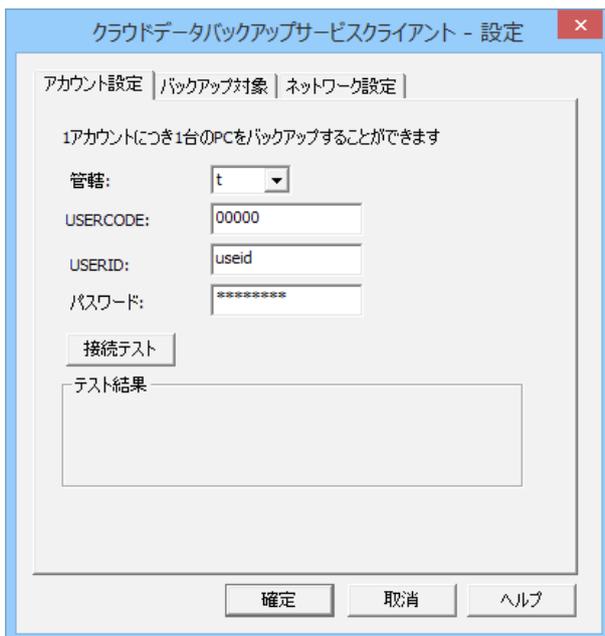


<ファイル>-<クラウドバックアップ連携>-<開いている対象をファイルに追加>

現在編集中的数据を、クラウドバックアップの対象ファイルとして指定します。

バックアップ対象に追加されたファイルは、クラウドバックアップサービスクライアントにより指定されたスケジュールで自動バックアップされます。

2-2 設定を開く



<ファイル>-<クラウドファイル共有連携>-<設定を開く>
クラウドバックアップサービスのクライアントプログラムの設定画面を開きます。

アカウント設定

本サービスのサーバにアクセスするためのアカウント情報を設定します。バックアップサーバにファイルのバックアップを行うために、必ず設定してください。

管轄、USERCODE

弊社Webサイトのユーザ情報ページにログインする際に使用する管轄とユーザコードを設定します。

USERID、パスワード

UC-1 for SaaS グループウェアにログインする際に使用するアカウント情報を設定します。

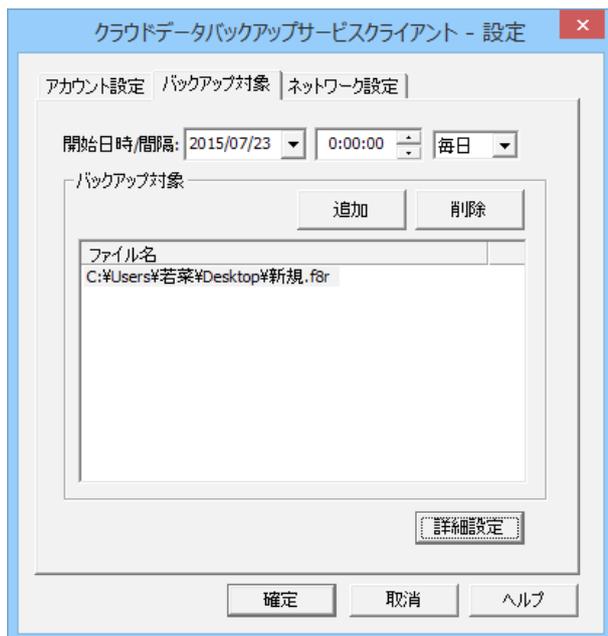
接続テスト

設定したアカウント情報を使用して、本サービスのサーバにアクセスできるかテストします。

ここで接続に問題が見つからなければ、本サービスのサーバにファイルのバックアップを行えます。

注意事項

1アカウントにつき1台のPCをバックアップすることができません。



バックアップ設定

バックアップ対象の指定や実行スケジュールを設定します。

バックアップ対象

バックアップの対象とするフォルダを指定します。
[追加] ボタンから対象フォルダは複数指定することができます。不要な対象はリストから選択して [削除] ボタンで対象からはずすことができます。

バックアップ開始日時

バックアップスケジュールの開始日時を指定します。
指定した日時以降、バックアップ間隔の設定に従ってバックアップ処理が実行されます。

バックアップ継続時間

スケジュールバックアップ時に処理を継続する最大時間(分)を指定します。この時間内のバックアップが完了しなかった場合、残りは次回実行時に処理されます。

バックアップ間隔

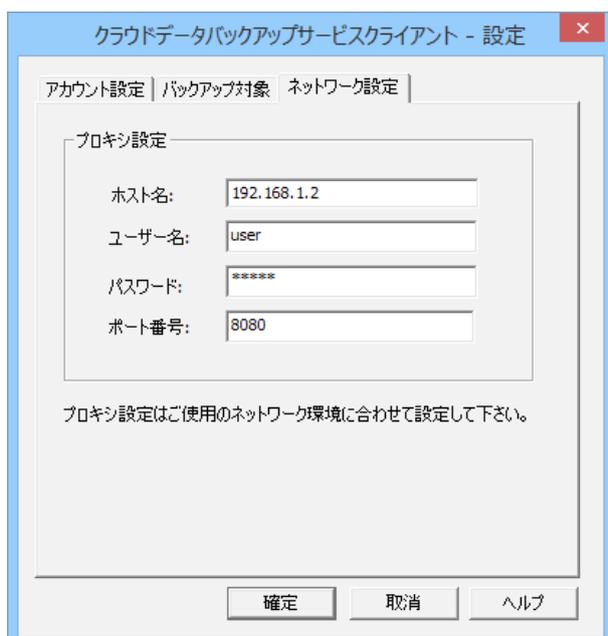
スケジュールの実行間隔を指定します。
バックアップ開始日時以降、毎日、毎週、毎月の実行が指定できます。

削除ファイル同期日数

ここで指定した日数を過ぎるとバックアップ元で削除済みのファイルは、本サービスのサーバからも削除されます。
削除ファイルの同期処理はバックアップ処理が実行され、サーバと接続した際に処理されます。
「0」を指定すると、削除済みのファイルはサーバと接続した際に即座に削除されます。

注意

バックアップのスケジュール処理を実行するには、本プログラムが起動している必要があります。
プログラムが起動していない場合、スケジュールバックアップが動作しないことにご注意下さい。



ネットワーク設定

本サービスのサーバにアクセスする際のネットワークの設定を行います。インターネットへのアクセスにプロキシサーバを経由する必要がある場合に設定を行います。

ホスト名

プロキシサーバのホスト名、または、IPアドレスを設定します。
プロキシサーバを経由しない場合は空欄にして下さい。

ユーザー名

プロキシサーバにアクセスする際に使用するユーザ名を設定します。不要な場合は空欄にして下さい。

パスワード

プロキシサーバにアクセスする際に使用するパスワードを設定します。不要な場合は空欄にして下さい。

ポート番号

プロキシサーバにアクセスする際に使用するポート番号を設定します。

注意事項

本ソフトウェア、及び、サービスの使用にあたり、以下の事項についてご注意ください。

本サービスのアカウント使用に関する注意事項

1アカウントにつき1台のPCをバックアップすることができません。

複数台のPCで同一のアカウントが使用された場合、本サービスのサーバ上のファイル構成は、最後に実行されたクライアントの環境に上書きされます。

バックアップデータを元の場所に復元する場合の注意事項

本ソフトウェアがアクセス可能なファイルであれば、Windowsのシステムに関わるファイルなどをバックアップすることもできますが、それらのファイルを復元する場合には十分にご確認の上、復元の作業を行なって下さい。

Windowsの動作に関わるファイルを不用意に上書き、変更することによって、PCが正常に動作しなくなる危険があります。

本ソフトウェアでは安全のため、Windows、Program Files、Program Files (x86)フォルダを一括ダウンロードダイアログでの復元対象外としております。

バックアップされたファイルの属性について

本ソフトウェアでバックアップしたファイルが持つ属性は保存されません。

システムファイル、隠しファイルのような属性を持つファイルをバックアップしても、復元されるファイルにはこれらの属性が再現されませんことにご注意下さい。

バックアップ対象となるフォルダ階層数

本ソフトウェアでは、バックアップ対象とされたフォルダから、21階層目までをバックアップ対象とします。これ以上深いフォルダの階層はバックアップ対象とはなりませんことにご注意下さい。

バックアップが中断されるケース

本ソフトウェアがアップロード中のファイルについて、ファイルの変更が検知された場合、その旨をメッセージ表示し、アップロード処理をスキップします。

スキップされたファイルは、次回のバックアップ時に再度バックアップを試みます。

バックアップ不可のファイルについて

本ソフトウェアがアクセス出来ないファイルはバックアップすることができません。

主に、以下のケースでの発生が想定されます。

- ・バックアップ対象のフォルダ、または、ファイルに対するアクセス権がない場合
- ・Windowsのシステムや、他のソフトウェアがバックアップ対象のファイルの読み込みを禁止している場合
- ・アップロード中に変更が検知されたファイル(前述の、バックアップが中断されるケースを参照)

バックアップデータ取得時に復元されない情報

本ソフトウェア、サービスによってバックアップされたファイルを取得した際、ファイルやフォルダに付随する、アクセス権限、ファイルの属性の情報は復元されません。ファイルの更新日時の情報は復元されます。ただし、ファイルがダウンロードされた直後にそのファイルにアクセスするソフトウェア(アンチウイルスソフトウェアなど)と競合し、更新日時の情報が正しく復元されないケースがございますことをご了承下さい。

ファイルが同一と判定される条件

ファイルの更新日時が同一であると判定された場合、ファイルは同一であると判断されます。

通常、この判定に基づき、バックアップ(アップロード)や復元(ダウンロード)の対象ファイルが決定されます。

2-3 Webサイトを開く



<ファイル>-<クラウドファイル共有連携>-<設定を開く>
クラウドバックアップサービスのWebサイトを表示します。
Webサイトでは、バックアップ済みファイルの確認、ファイルの
ダウンロード、ファイルの検索を行うことができます。

注意

適切なアカウント情報が入力されていない場合、Webサイトは
表示されません。

※詳しくは、UC-1 for SaaS グループウェアの操作ガイダンスを
ご参考ください。

<http://www.forum8.co.jp/faq/manual-index.htm>

第3章 2DCAD機能

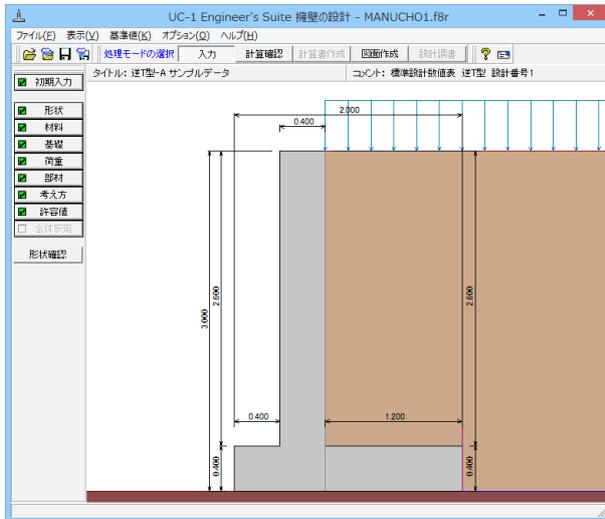
単独製品で図面作成機能を有しているスイート構成製品に対して、2次元汎用CADの「UC-Draw」の機能を有した図面編集ツールに生成した図面を連動し、多様な編集、出力が可能な「2DCAD 機能」を標準サポートします。

1 図面作成

計算終了後、図面作成モードを選択します。

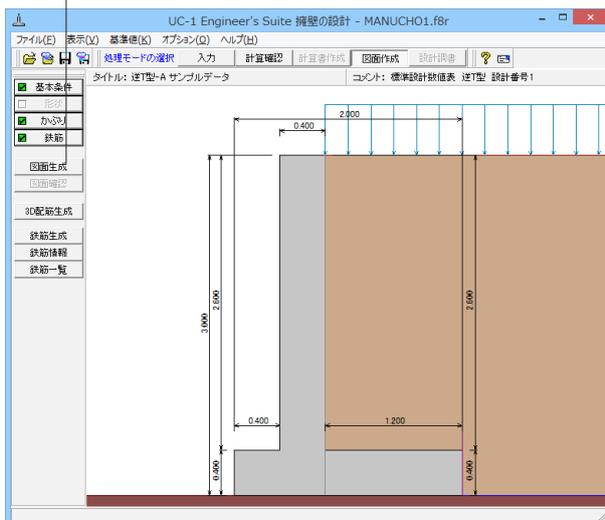
入力、計算の詳しい操作方法につきましては、各製品の操作ガイダンスを参照下さい。

今回は、「擁壁の設計」にて、操作を説明します。サンプルデータ MANUCHO1.f8rを選択します。



1-1 図面生成

図面生成ボタンをクリックします。

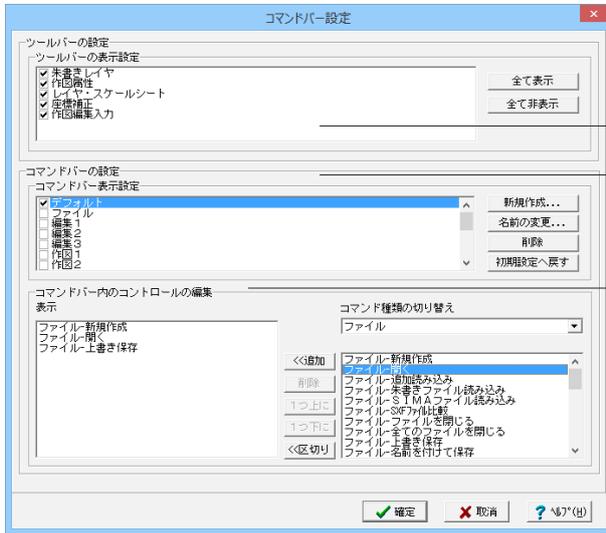


コマンドバー



メニューバーから表示されるコマンド選択用スピードボタンの表示とその選択を行います。

コマンドバーのカスタマイズ



コマンドバーの表示状態のカスタマイズを行います。(＜設定＞->＜コマンドバー設定＞を選択します。)

不要なツールバーはチェックをはずし、非表示にします。

必要なコマンドバーにチェックをつけ、表示します。
新しいコマンドバーを作成する場合は、＜新規作成＞を選択します。

コマンドバー表示設定で選択しているコマンドバー内のコマンドの表示・非表示を選択します。

作図編集入力バー

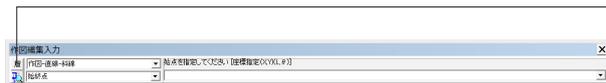


作図・編集・表示・計測を行う際の、パラメータの指定や操作ガイドの表示などを行います。

操作ガイド・数値入力

作図方法・コマンド履歴

割り込み部分拡大



履歴ボタンをOFFにすると、操作履歴を非表示にして、作図編集入力バーを最小限で使うことができます。

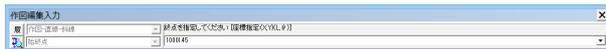
数値入力について



入力可能な数値の内容がガイドメッセージに表示されますので、その内容より数値の種類を判断して入力してください。

座標値入力

「ステータスバー」の「用紙・実寸」および「相対(X, Y)・絶対(X, Y)」ボタンの組み合わせで意味合いが変わります。



長さや角度の入力

長さの後に「L」(半角大文字)または「l」(半角小文字)を入力します。

角度は、「度」または「度分秒」で入力します。



長さの入力

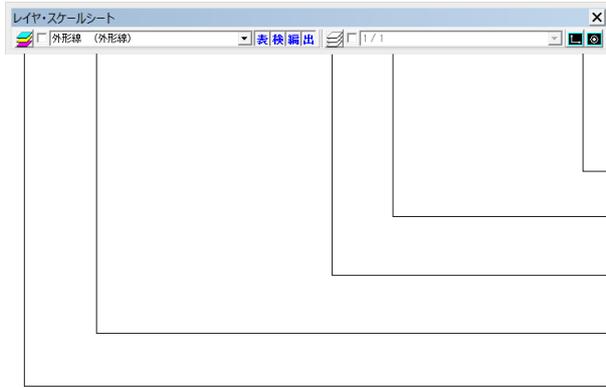
長さや個数の場合は、数値のみ入力します。



四則演算機能をサポート

「+」・「-」・「*」・「/」・「(」・「)」の使用が可能です。

レイヤ・スケールシートバー



「図面レイヤ」および「スケールシート」に関する情報の確認や設定を行います。

※レイヤ・スケールシート選択コンボボックス左横のチェックボックスにチェックをつけるとカレントのレイヤ・スケールシート以外の要素はトーンダウン状態で表示されます。

スケールシート原点・基準点表示

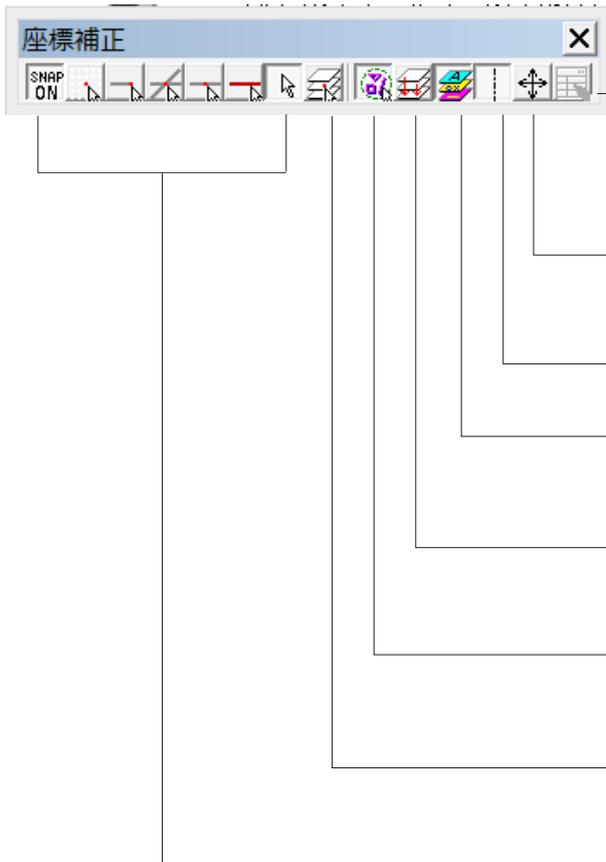
スケールシート選択

スケールシート設定

レイヤ選択

レイヤ設定

座標補正バー



作図・編集時の座標補正方法や要素選択方法などの指定を行います。

タイトル版編集

タイトル版を編集するための表生成シンボル機能が起動します。

※本ボタンは、拡張子が「HDF」のファイルをタイトル版として使用した場合に有効となります。

ホールド

「直行モード (作図・編集の際、作図・編集方向を水平・垂直方向へ固定する機能)」の有効/無効を切り替えます。

下書き表示/非表示

下書き線の表示/非表示を切り替えます。

レイヤの自動変更

ONにすると、各要素加筆時、使用頻度が高い図面レイヤを自動的に切り替えます。

カレントスケールシート以外も編集

カレントスケールシート以外の要素も編集対象とするかしないかを指定します。

グループ一括選択

グループ化された要素を一括で選択するか要素毎に選択するかを設定します。

カレントスケールシート以外の要素も補正対象

カレントスケールシート以外の要素を座標補正の対象とするかしないかを指定します。

スナップショット

マウスにより座標を指定する場合、マウスでクリックした点に対してどのように座標補正を行うかを指定します。

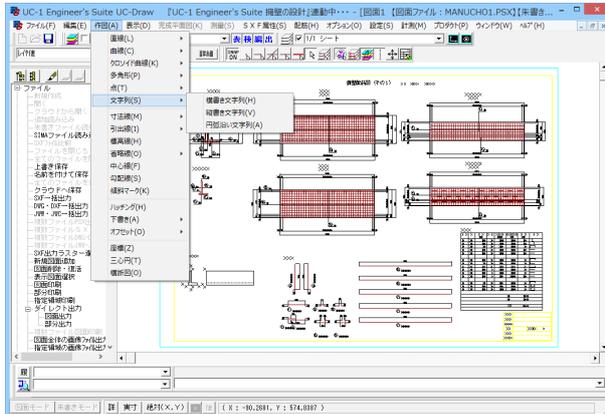
「SNAP」ボタンにより、スナップショットの有効/無効の一括切り替えが行えます。

作図属性バー



作図を行う際の、作図属性の確認および設定を行います。

加筆



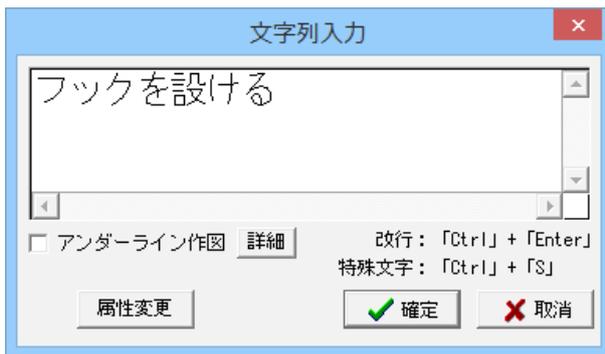
文字列の加筆

メイン画面より<作図>-<文字列>-<横書き文字列>をクリックします。

加筆する文字列の始点をクリックします。

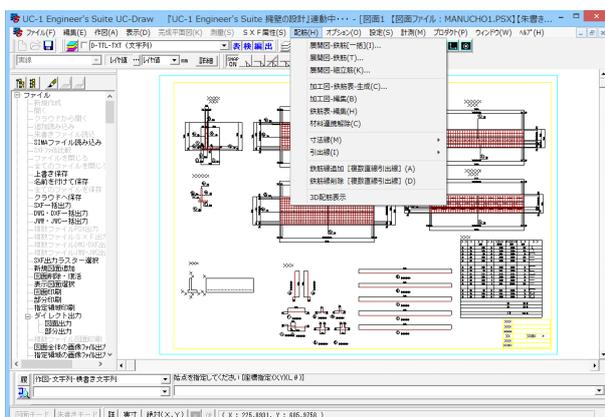
マウスを移動して文字列角度を決めます。

※Shiftキーを押すことで直行モードになります。



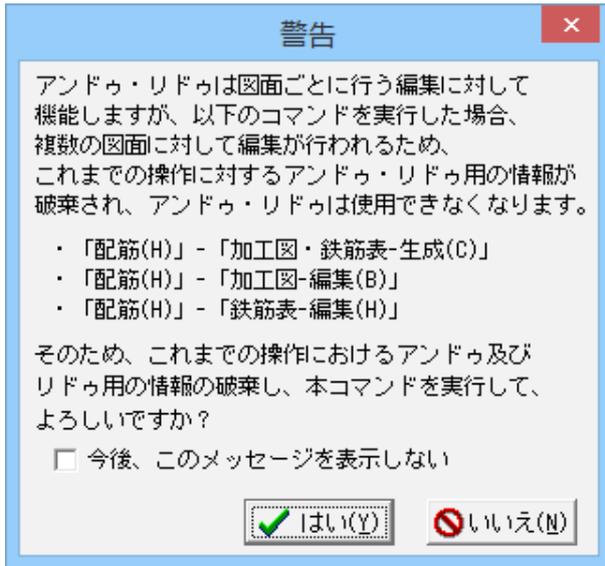
文字列入力ウィンドウに文字列を入力、「確定」ボタンをクリックします。

加工図の編集

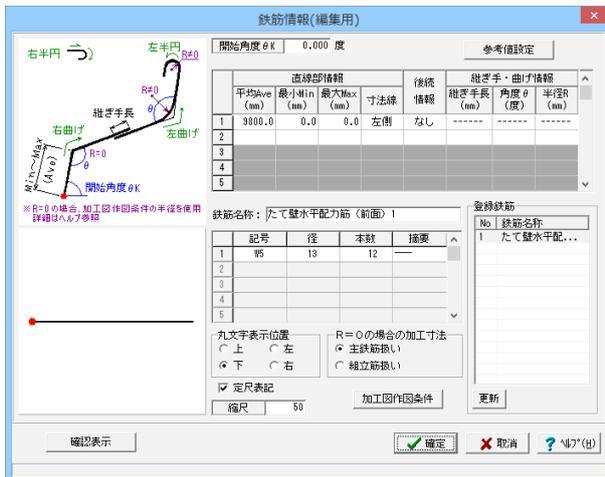


例：鉄筋W5鉄筋先にフックを設けます

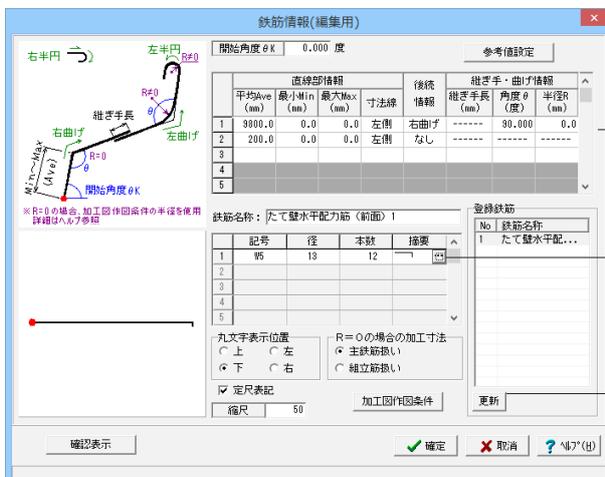
メイン画面<配筋>-<加工図>-<編集>をクリックします。



アンドゥ情報を破棄する警告で「はい」を選択します。
編集する加工図を左クリックで選択し、右クリックで確定します。<W5の鉄筋を選択>



現在の鉄筋情報が表示されます。

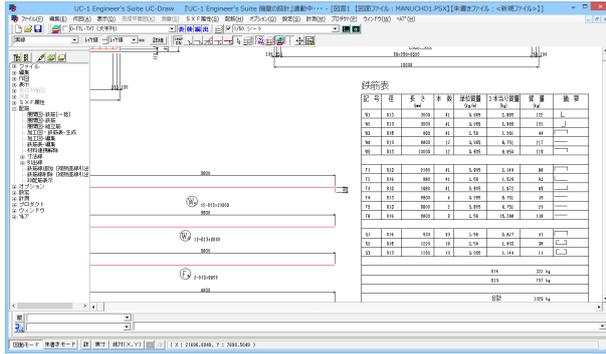


鉄筋情報を変更します。

後続情報1: なし→右曲げ
角度1: ----→90
半径1: ----→0
Ave2: 200
寸法線2: 左側

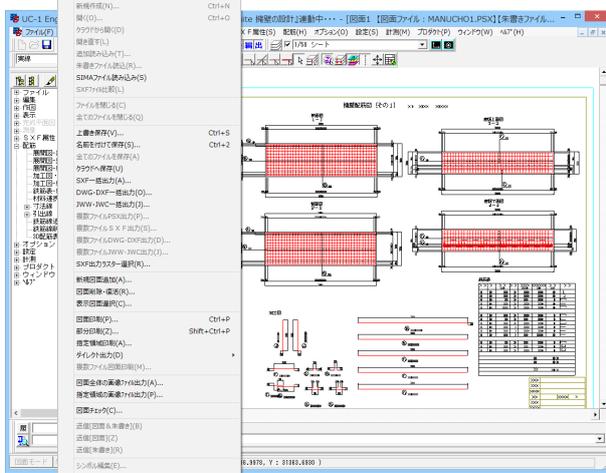
摘要: バー筋→折れ1形状

更新をクリック、確定します。

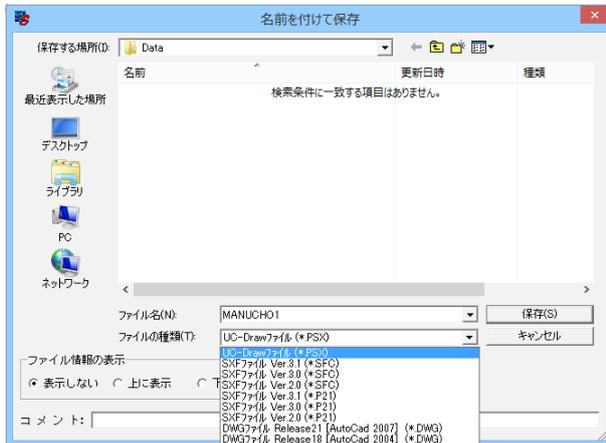


加工図の編集内容が鉄筋表(鉄筋長、摘要形状、鉄筋質量、鉄筋合計質量)に反映されます。

1-3 図面出力



各種ファイル形式に出力します。
 <ファイル>-<名前を付けて保存>を選択します。



ファイルの拡張子を選択して保存します。

- UC-Drawファイル (拡張子: PSX)
- SXFファイル (拡張子: SFC, P21)
- DWGファイル (拡張子: DWG)
- DXFファイル (拡張子: DXF)
- JWWファイル (拡張子: JWW)
- JWCファイル (拡張子: JWC)

1-4 図面編集終了



メイン画面<ファイル>-<UC-Draw終了>を選択します。
 メッセージ<はい>をクリックして、「擁壁の設計」へ戻ります。

第4章 3D配筋機能

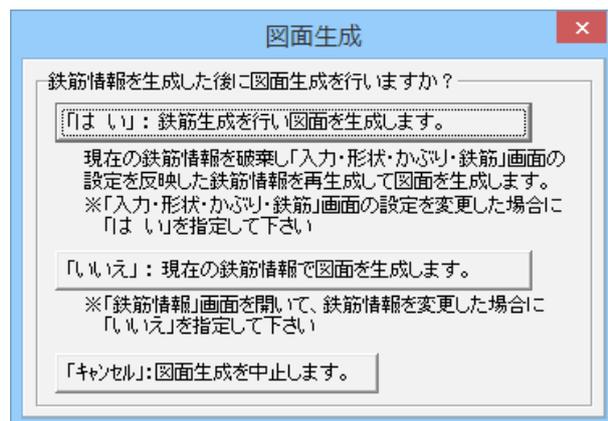
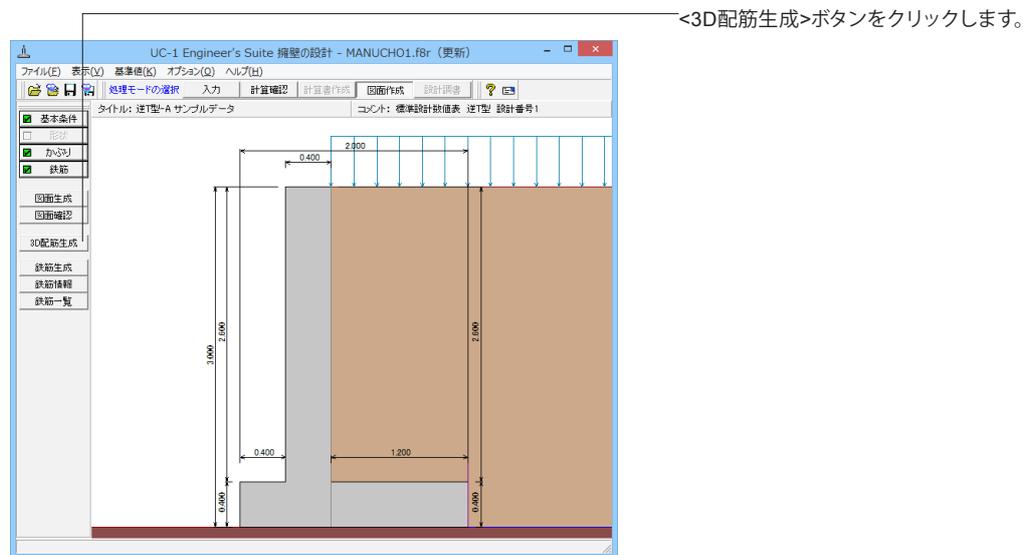
単独製品で「3D配筋生成」機能を有しているスイート構成製品では、「3D配筋表示」機能に加え「躯体・鉄筋編集」、「干渉チェック」機能を有する「3D配筋CAD」機能を標準実装します。

1 3D配筋生成

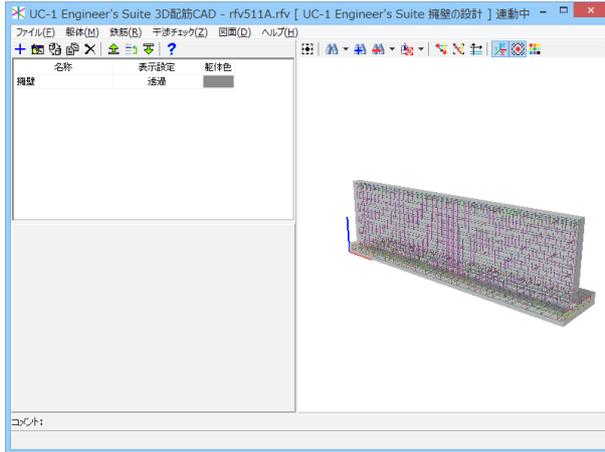
ここでは、「擁壁の設計」にてサンプルデータ MANUCHO1.f8r を用いて操作を説明します。

「ファイル-開く」からサンプルデータ「MANUCHO1.f8r」を開きます。

計算終了後、図面作成モードを選択します。



メッセージ<「はい」：鉄筋生成を行い図面を作成します。>をクリックします。

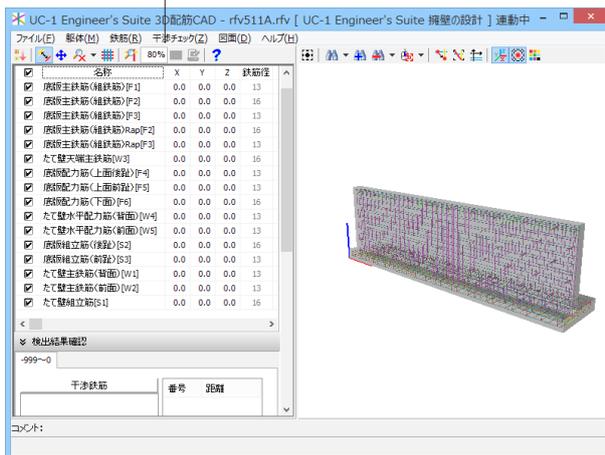


3D配筋CADが起動します。

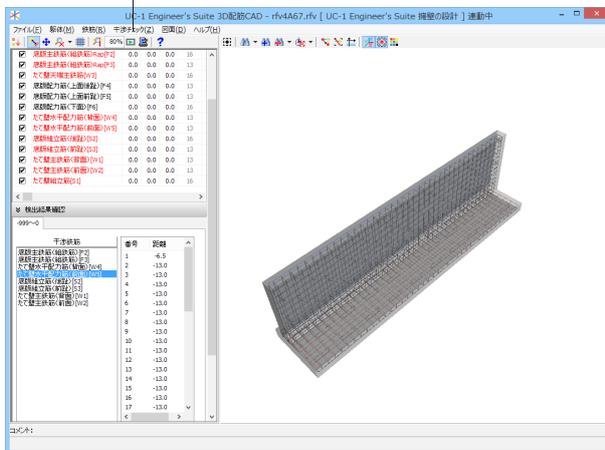
1-1 干渉チェック

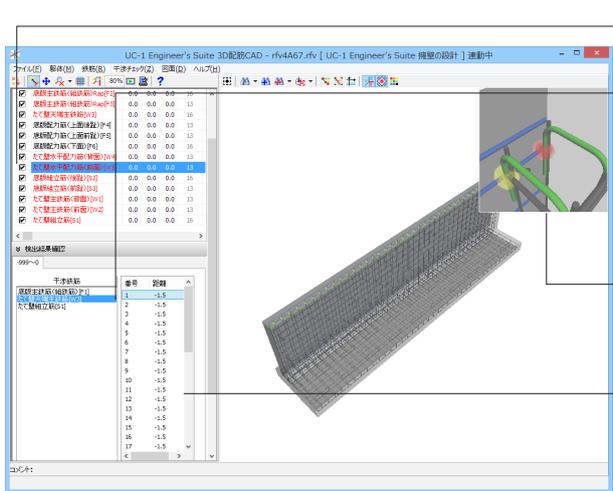
鉄筋と衝突している、または、所定の間隔を満たしていない鉄筋を検出し、干渉鉄筋が生じている鉄筋をリストに一覧表示し、干渉鉄筋、および、干渉箇所部の色を変えて表示します。

メイン画面<干渉チェック>をクリックします。



<検出>ボタンをクリックすると、検出結果が表示されます。



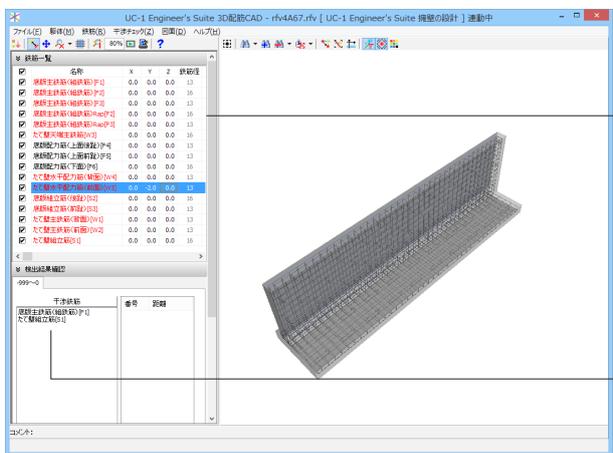


検出結果より、確認する鉄筋を選択します。<たて壁水平配力筋(前面)>

選択鉄筋と干渉が生じている鉄筋が表示されますので、干渉鉄筋を選択します。<たて壁天端主鉄筋>

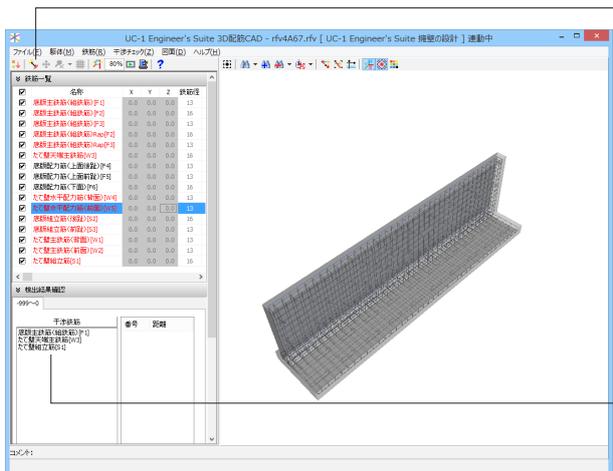
確認する干渉鉄筋番号を選択するとその部分が拡大表示されます。<番号1>

選択鉄筋と干渉鉄筋との干渉距離がリストで表示されます。



選択鉄筋と干渉鉄筋との干渉距離が1.5mmであったので、たて壁水平配力筋(前面)を2.0mm前面側へ移動(オフセットYに-2.0を入力)し、再検出します。

たて壁天端主鉄筋との干渉なし

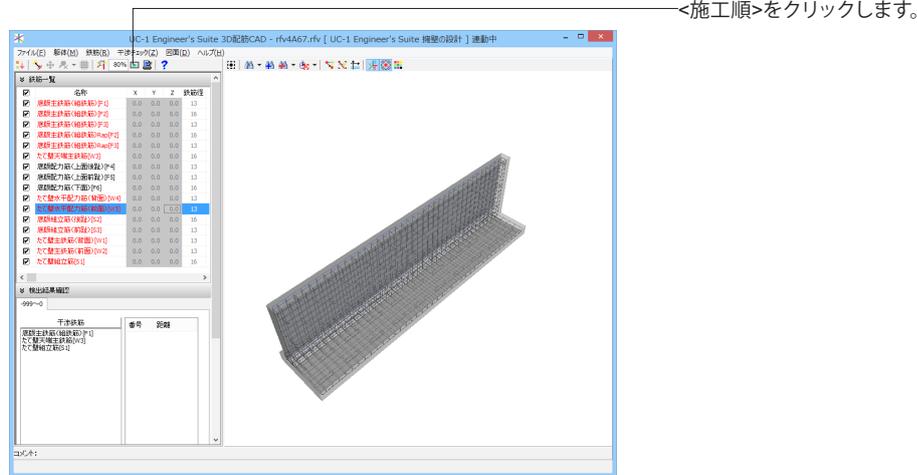


検出結果の「オフセットなし」「オフセットあり」を切り替えることで、干渉有無の確認ができます。

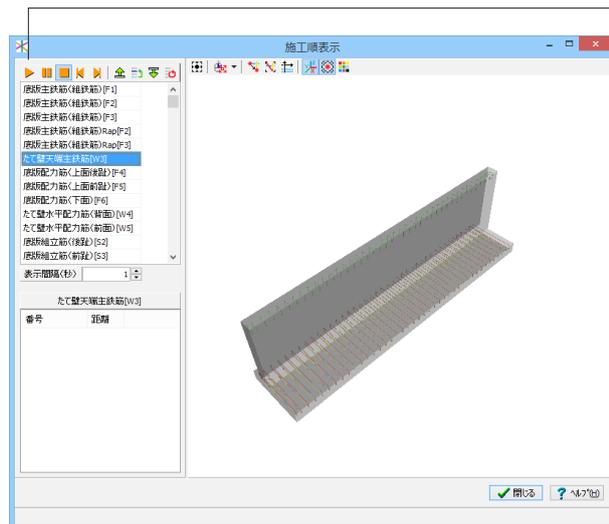
たて壁天端主鉄筋との干渉あり

1-2 施工順

干渉チェックの結果を鉄筋の施工順に見るための機能です。鉄筋を施工順に並べ替えて再生ボタンを押すと、鉄筋が追加された時の干渉ポイントが順番に描画されます。



<施工順>をクリックします。



開始ボタンをクリックします。干渉している箇所を施行段階毎にアニメーションで確認することができます。

動画設定

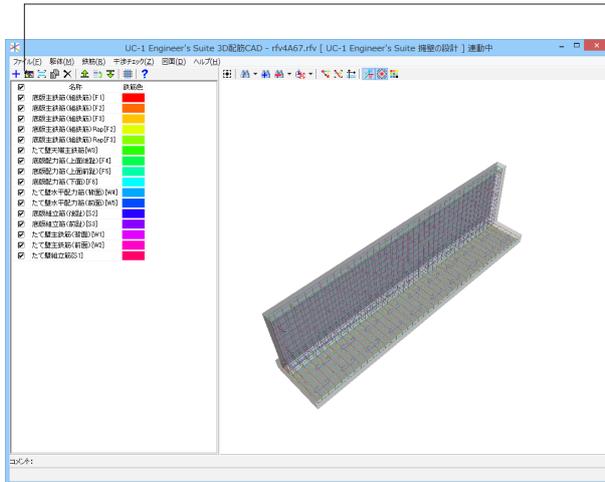
リストボックスから鉄筋を選択して、マウスでドラッグ&ドロップすることで表示順序を入れ換えることができます。ただし、動画再生中、または一時停止中は変更できません。また、表示間隔で、動画再生時に次の鉄筋が表示されるまでの時間を設定できます。

コントローラ

- 開始：動画を開始します
- 一時停止：再生を中断し、最後に表示された鉄筋の干渉ポイントがリストビューに表示されます
- リセット：再生を停止し、表示状態を初期化します
- コマ送り：押される度に、鉄筋を1つずつ表示していきます

1-3 鉄筋の追加配置

鉄筋（主鉄筋や配力筋、組立筋）を「追加」「編集」「削除」操作で生成します。生成された鉄筋は、鉄筋リストに登録されます。



<鉄筋>メニューをクリックし、<追加>ボタンをクリックします。

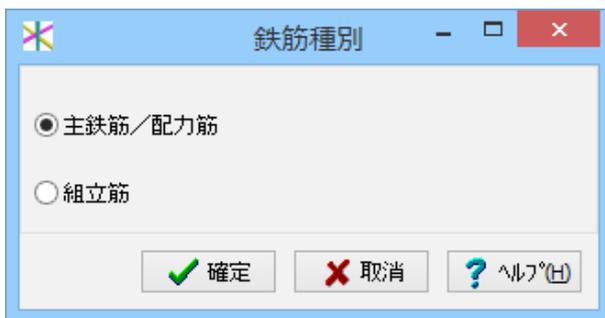
編集

生成した鉄筋の編集を行います。

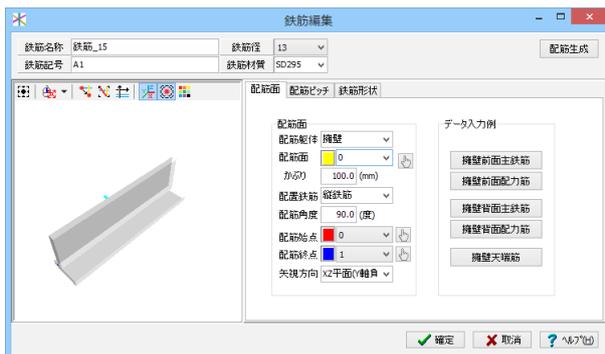
* 弊社の設計プログラム、UC-Drawツールズで生成した3次元配筋データファイル（拡張子：rfv）を読み込んだ場合は、躯体・鉄筋名称以外の編集には対応していません。

配筋生成

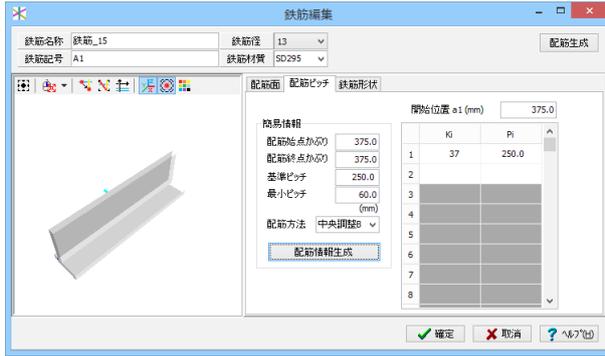
登録済み鉄筋の鉄筋ピッチの再生成および躯体配筋面への再配置を行います。



鉄筋種別を選択します。<主鉄筋/配力筋>



<配筋面>タブ
<配筋面>0を選択します。

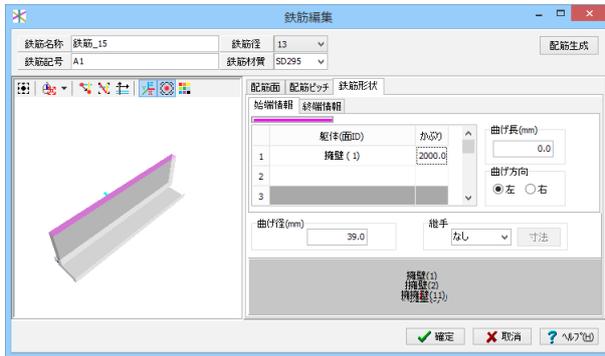


<配筋ピッチ>タブ

簡易情報にて、情報を入力します。
 始点かぶり: 375.0
 終点かぶり: 375.0
 基準ピッチ: 250.0
 最小ピッチ: 60.0
 配筋方法: 中央調整B

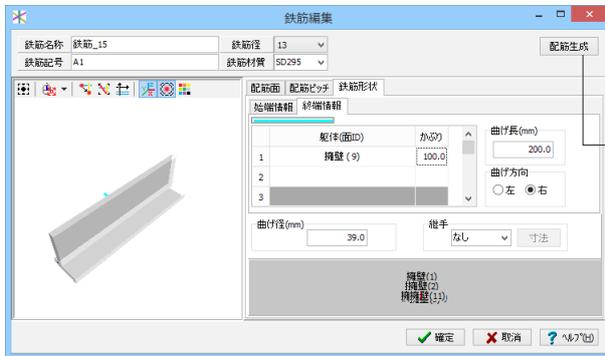
<配筋情報生成>ボタンをクリックします。

鉄筋配置情報(開始位置a1 配置Ki Pi)が生成されます。



<鉄筋形状>タブ<始端情報>

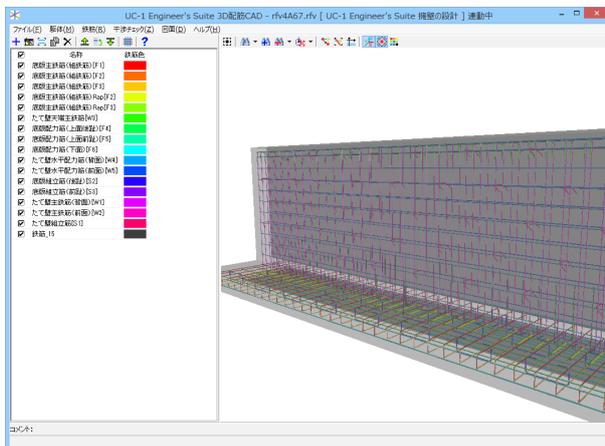
始端情報のかぶり、終端情報の躯体面、曲げ長、曲げ方向を入力します。
 始端情報のかぶり: 2000.0



<終端情報>

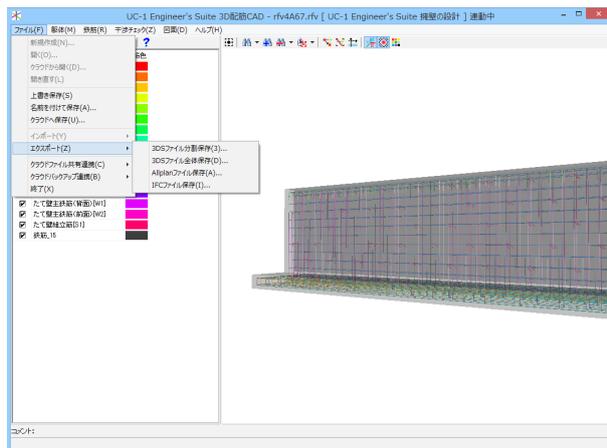
終端情報の躯体面: 擁壁(9)
 終端情報の曲げ長: 200.0
 終端情報の曲げ方向: 右

<配筋生成>ボタンをクリックします。



メイン画面にて、追加された鉄筋を確認できます。

1-4 エクスポート



<ファイル>-<エクスポート>にて、3次元データを出力できます。

3DSファイル全体保存

※「3ds」形式で全てのデータをひとつのファイルに保存します。

3DSファイル分割保存

※「3ds」形式で大きなグループごとに分割して複数のファイルに保存します。

Allplan ファイル保存

※建築CAD「Allplan」で扱うファイル形式（「.a」形式）で保存します。

IFC ファイル保存

※BIMで扱うファイル形式（「.ifc」形式）で保存します。

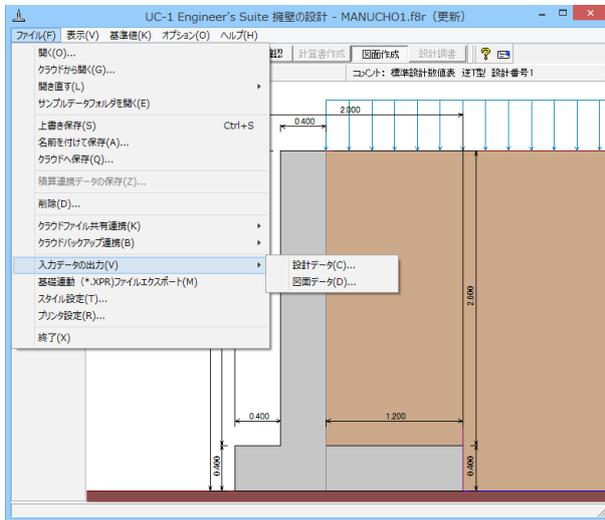
1-5 3D配筋CAD終了



<ファイル>-<終了>で表示される終了画面で、「はい」を選択すると3D配筋CADの操作を終了し、「擁壁の設計」に戻ります。

第5章 サポート・チェック機能

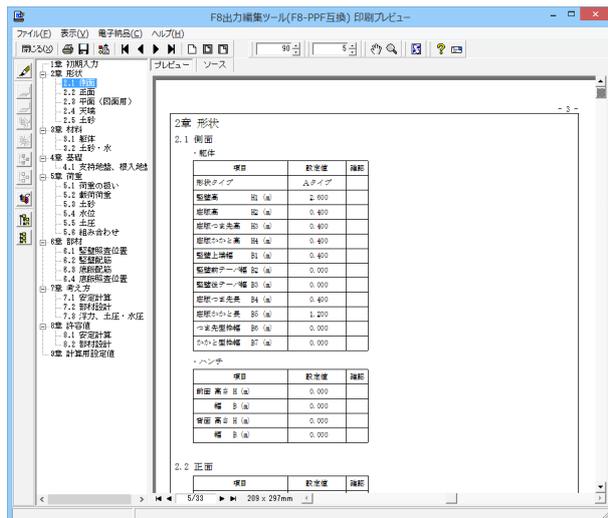
入力データチェックリスト出力を標準サポートします。



<ファイル>-<入力データ出力>-<設計データ>を選択します。



<プレビュー>をクリックします。



F8出力編集ツールが起動し、入力データのチェックリストが表示されます。

F8 出力編集ツール

FORUM8製品から出力されたデータをプレビュー、印刷、他のファイル形式への保存を行うことができます。また、ソースの編集を行うことで文章を修正することができます。

第6章 Q&A

1 UC-1 Engineer's Suite 下部工基礎スイート 橋台の設計

Q1-1 「橋台の設計」と「UC-1 Engineer's Suite 橋台の設計」の違いはありますか。

A1-1 UC-1 Engineer's Suite版と下記の内容が異なりますが、入力及び計算機能に相違はありません。

- ・クラウド機能を使用可能。
- ・図面編集、3D配筋機能の強化
- ・「UC-1 Engineer's Suite 震度算出（支承設計）」において設計調書に橋台を含む下部工及び基礎の結果をまとめて出力可能。

2 UC-1 Engineer's Suite 下部工基礎スイート 箱式橋台の設計計算

Q2-1 「箱式橋台の設計計算」と「UC-1 Engineer's Suite 箱式橋台の設計計算」の違いはありますか

A2-1 UC-1 Engineer's Suite版と下記の内容が異なりますが、入力及び計算機能に相違はありません。

- ・クラウド機能を使用可能

Q&AはHP(<http://www.forum8.co.jp/tech/uc1win0-tech.htm#suite>)にも掲載しております。

UC-1 Engineer's Suite 操作ガイド

2016年 3月 第2版

発行元 株式会社フォーラムエイト

〒108-6021 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟21F

TEL 03-6894-1888

禁複製

本プログラム及び解説書についてご不明な点がございましたら、必ず文書あるいはFAX、e-mailにて下記宛、お問い合わせ下さい。また、インターネットホームページ上のQ&A集もご利用下さい。なお、回答は 9:00～12:00/13:00～17:00 (月～金) となりますのでご了承ください。

ホームページ www.forum8.co.jp

サポート窓口 ic@forum8.co.jp

FAX 0985-55-3027

本システムを使用する時は、貴社の業務に該当するかどうか充分のチェックを行った上でご使用下さい。本システムを使用したことによる、貴社の金銭上の損害及び逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社はその責任を一切負いませんのであらかじめご了承下さい。

※掲載されている各社名、各社製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

UC-1 Engineer's Suite

操作ガイドンス

www.forum8.co.jp

